

今年は季節の進みが早く、桜をはじめいろんな花が足早に咲き進んでいきますね。黒木の大藤やお茶も、例年より10日くらい早く進んでいるようです。農家さんも田んぼやお茶摘みの準備を慌ただしく始めています。こんなときは晩霜が怖いのですが、どうか無事に農作業が進みますようにと願うばかりです。

今月のお米：宮園福夫・佐津美さん「ヒノヒカリ」：鹿子尾地区



田んぼの仕事始め、耕うん作業中の福夫さん

「去年の米は、どうにか平年並みの出来でした。ただ、一昨年の豪雨で取水口が崩れた田んぼでは米が作れず、その分減収となりました。その田んぼは今年も難しそうです。ここ数年は毎年豪雨の被害があり、川や谷のそばの農地は難しいと感じています。

コロナの影響もあり、米もお茶も価格がますます安くなっています。「安くていいもの」が求められる風潮がありますが、それに応えるには限界があります。平地のように大規模化ができない中山間地の農業は特に厳しいです。食物がどのように作られているのか、もっと知られてほしいです。「食べること」をもっと重要視してほしいと思います。皆さんにはいつも棚田の米を食べて応援いただき、ありがとうございます。(福夫)」

「これから6月末まで、一番茶の収穫、田植え、二番茶…と、お茶と田んぼと並行しての作業になります。お茶が一段落すると、米づくりで一番大変な夏の草取りです。取っても次々と生えてくるので、去年は3度草取りをしました。今年もみなさんに美味しいお米を届けられるよう、頑張って作ります！

この春から、近所のおばちゃんたちがやっていた、かりんとうづくり（菓子製造）を引き継ぎました。いろいろ工夫して種類も増やしていけたらと思っています。「よかるうもん」のかりんとう、ぜひ食べてみてください！(佐津美)」



農産物注文書から、かりんとうご注文できます！

※特裁米の玄米注文の方と、農薬化学肥料不使用をお申込みの方には、大橋幸太郎さんの「農薬化学肥料不使用ヒノヒカリ」をお届けしています。

◆事務局より

○次回のお届け 次回(5/5 発送)は大橋幸太郎さんの「農薬化学肥料不使用ヒノヒカリ」をお届け予定です。追加注文や精米歩合の変更、配達先変更をご希望の方は、発送前月20日までにお知らせください。

○発送作業でのウイルス対策 ①発熱など風邪症状がないか確認 ②作業前に手指の消毒(石けん手洗い or アルコール消毒) ③マスク着用 を行って発送しました。



こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾

美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E-mail: info@sansonjuku.com

山村塾 HP <https://sansonjuku.com>

【現在のサポーター数】3月82名→82名/102.5俵(個人:80、企業/団体:2)

【守られている棚田面積】17,083㎡(102.5俵⇒170.8a 収量6俵/10aとして)

※美しい棚田の風景と、それを守り引き継ぐ仕組みづくりを目指して、お米を食べて応援して下さるサポーターを募集しています。



山村塾ホームページ
棚田米新聞も掲載しています